

21039 平和と心理学 Peace and Psychology		2 年次～ 通年 4 単位	
担当者	小谷野 邦子	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	心理(W)
サブタイトル	「人々の心のなかに平和の砦を築く」とは？		
授業内容 ・ ねらい	<p>戦後65年が過ぎ、まがりなりにも“平和”であったとされる日本ですが、大きな曲がり角をまわったようです。</p> <p>この授業では、「人間と戦争・平和」の問題、あるいは「戦争・平和」を通して人間を考えていこうという授業です。福祉を大きく人間という視点から捉えたい人、現代社会のありかたに疑問を持つ人、人間的に生きたい人に考える場を提供できればと考えています。</p> <p>平和とは何か、まずは“戦争”を知ることから始めましょう。そして私たちの日常生活のなかの構造的暴力に気づき、その社会心理学的問題をとらえるとともに、平和へむけて視野を広げていきたいと思えます。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 構造的暴力と積極的平和。 2. 戦争を人々はいかに「生きた」か。 ナチ強制収容所と中国における日本軍 3. 戦後の精神文化がひきずっていること。 4. 教育とマス・コミのはたす役割 5. 権威主義的パーソナリティと集団への同調性 等を意識しながら、受講生の関心・問題意識に沿って一緒に授業を作っていきます。後期は受講生の関心テーマにそったグループ活動と報告発表を予定しています。 		
教科書 参考書	<p>参) 「戦争への想像力」「戦争は教室から始まる」など、参考書等はその都度紹介します。</p> <p>夏休みに課題図書(野田正彰『戦争と罪責』岩波書店)を読んでもらいます。</p>		
評価方法	年間通して大小、4、5回のレポートと、授業への参加態度およびグループ活動への取り組み方で、総合的に評価します。		
事前準備学習 履修条件等	社会心理学を受講していることが望ましいですが、同時履修、未履修でも可です。その場合は自学・自習してください。		